

九州大学経営協議会議事録

日時：平成30年1月19日（金）13：00～14：20

場所：九州大学 椎木講堂大会議室

出席者：29名中20名出席

【審議事項等】

1 平成30年度予算の内示について

平成30年度予算の内示について報告があり、以下のような質疑応答があった。

- ・国立大学経営改革促進事業が新規に計上されているが、九州大学としてどのような取組みを想定しているのか。
 - 総長のリーダーシップによりガバナンスを強化し、移転事業の活性化、産業界との共創によるイノベーション創出、外部人材登用による経営力の強化、海外同窓会の組織化などさまざまな構想がある。本事業には積極的に関与していきたい。
- ・病院収入が増加しているが、病院の診療・教育・研究に無理のない範囲での増加と考えていいか。
 - 病院の収入で人を雇用できる制度を創設しており、収入が増加しても診療における医療安全は担保されている。
 - 教育・研究は大学病院としての使命であり、九大病院としてもリサーチマインドを持った医療人を育成している。
 - 最先端設備の導入や古くなった設備の更新も同時に進めている。
- ・スポーツ、文化芸術関係予算と九州大学との関係はいかがか。
 - 直接的な関係ではないが、大学スポーツの振興や本学の芸術工学関連が関わってくるものと思われる。

2 機能強化経費（第2期の評価結果反映分）について

機能強化経費（第2期の評価結果反映分）について報告があった。

3 平成28年度に係る業務の実績に関する評価の結果について

平成28年度に係る業務の実績に関する評価の結果について報告があり、以下のような質疑応答があった。

- ・共同利用・共同研究等のオープンコラボレーションは推進される方向なのか。
 - 特に海外との共同利用・共同研究を積極的に推進していく方向である。

4 中期目標・中期計画の変更について

中期目標・中期計画の変更について説明があり、審議の結果、これを議決した。

【懇談会】

○九州大学起業部の活動紹介があり、以下のような質疑応答があった。

- ・特許関係は大丈夫か。事業化に際しては競合他社が出てくるのが想定されるので、特許に関しては慎重に対応する必要がある。
 - 大学で押さえている特許を活用している。ご指摘いただいたとおり特許関係は慎重に進めて参りたい。

- ・病理画像をどのように収集しているのか。
 - 今は学生実習用のデータを使用している。診断精度を向上させていくためには、さらに大量にデータを収集する必要があるので、診断ソフト利用にデータ共有が必要となるフリーミアムを利用するビジネスモデルを考えている。
- ・既存の QREC 等との関係性はどうか。場所は FUKUOKA Growth Next に入っているが、どのような考えか。
 - QREC は起業家教育を行っているが、リーダーシップ教育など広義の起業家教育を行っている。九州大学起業部は QREC によって高まってきた学生ベンチャー創出の機運を実行する受け皿としての役割がある。
 - 九州大学は分散キャンパスということもあり、福岡市の中心地にある FUKUOKA Growth Next に入っている。東京からメンターに来てもらうにも便利な場所であるが、伊都キャンパスの学生にとっては利便性に欠けるところもある。場所をどうするかについては今後の課題と認識している。

【その他】

次回の経営協議会は平成30年3月22日（木）に箱崎キャンパスにおいて開催予定である旨の案内があった。

（ 以 上 ）